

# 日本心中 針生一郎・日本を丸ごと抱え込んでしまった男。(2001)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

時間 87分

初公開日 2002/06/01

公開情報 国立工房

## 【解説】

戦後日本の美術・文芸評論を通して闘ってきた批評家、針生一郎。戦前、日本浪漫派の保田興重郎の強い影響を受けるも、戦後は転向し、シュールレアリズムに傾倒し、今なお日本社会の制度を変革しようと試み続ける針生の言説が、この混迷の時代に再びその重要性を増しているといわれる。そんな、針生の言説を映像化したドキュメンタリー。

2000年・春。針生一郎は、韓国と日本を往還した。果てしない心の変遷を求めるその旅はまた、彼の人生と思想の集大成ともいふべき、追憶と想像力の旅でもあった。光州で針生は、路地から路地、あるいは雑踏の中を歩き回る。また、日本にいる彼は自宅の書斎で、日本に新しい秩序を作り上げようともがき続けた自らの半生を振り返り熱く語り続ける。一方でカメラは、舞踏家・大野一雄、慶人の親子競演や、女体に彫り刻まれる太夫の刺青など、針生の思想の具現ともいふべき現代日本のアーティストたちのアートやパフォーマンスを映し出していく。

## 【クレジット】

監督 大浦信行

制作 渥美比奈子

原丸珠

脚本 大浦信行

撮影 辻智彦

編集 辻智彦

中西義久

大浦信行

音楽 中山ラビ

録音 川嶋一義

出演 針生一郎

洪成潭

河正雄

彫長

中野弘美

大野慶人

大野一雄